



## 私の思い出写真館

# 神のダム (フィリピン・サンロケ多目的ダム)



関山 護  
丸紅  
副会長



フィリピン・サンロケ多目的ダムの貯水池にて撮影(2002年)

湖で泳ぐ老人の写真、Guess Who ? 実は写真の人物は、2002年当時74歳のフィリピン第12代ラモス大統領である。場所は私が入社以来四半世紀にわたり手掛けたサンロケ多目的ダムの貯水池であり、<sup>たんすい</sup>湛水完了の際に視察に訪れた大統領が予定外の行動で泳ぎだしたという驚きの写真である。

同大統領の出身地でもある最大の穀倉地の一つソン島北部パンガシナン州で、懸案の電力不足を補い、三毛作への転換を可能とし、かつ台風による洪水被害を防ぐ「発電・灌漑・洪水防止・水質改善」の役割を担うサンロケ多目的ダムを建設することは、1970年代半ばに事業計画が立案されて以来、同国の悲願であった。総事業

規模1,300億円超の巨大プロジェクトは民間事業としての困難さが懸念された。しかし、当社は関西電力と共に1997年に事業者として選出され、アジア通貨危機など、資金調達の難局時にも日本輸出入銀行(現国際協力銀行)、邦銀プロジェクトファイナンスの精鋭部隊の支援を得られた。1998年に着工、東芝製の411MWの発電設備を備え2003年5月に発電開始、立派な日本企業のプロジェクトとして成立させることができた。アジア最大のロックフィルダム(注)の完成である。

タイトル「神のダム」は1997年の契約調印式の際に、土木工学修士のラモス大統領より命名を頂いたものである。「私は幼少のころより洪水被害を経験し、ダムの建設の必要性を考えていた。今回のサンロケダムの建設について丸紅が夢をかなえてくれたと感謝している。サンロケダムは、私のダムであり、皆のダムであり、神のダムである」。商業運転を開始した2003年に政権はアロヨ大統領に代わっていたが、台風に襲われたパンガシナン州を洪水から救い、アロヨ大統領からも感謝された。神のダムはいまだ現役で活躍中である。

日本の企業が総力を挙げて相手国から感謝される巨大プロジェクトを完遂させた。われわれが手掛けた忘れられないプロジェクトのエピソードを思い出す写真である。



プロジェクト完了後  
ラモス大統領とゴルフ



建設中視察



神のダム

(注)ロックフィルダム:岩石や土砂を積み上げて建設する型式のダム